

再履修についての注意事項

次のような履修を「再履修」として扱います。その際、過去にその科目を履修したことがない場合でも再履修となります。

- 過去に不合格になった科目を、再度履修する場合（「再受講」として区別する場合があります）
- 自己の学年よりも低学年に配当されている科目を履修する場合
- 留年歴のある学生が科目を履修する場合（すべての科目を再履修として扱います）

再履修は基本的に所属学科で正規開講されている低学年クラスを履修登録することになります。他学科において自学科のカリキュラムと同名の科目が開講されている場合がありますが、講義内容の違いにより、履修が認められない場合があります。学修要覧の説明をよく読むとともに、不明な場合は教学課へ問い合わせてください。

また、科目によっては再履修者を対象としたクラスを開講している場合があります（当該科目の前に「再・」と表示）。これらの講義が開講されている場合は、基本的に正規開講クラスを履修することはできません。

再履修すべき科目がカリキュラム改訂により変更している場合は、旧科目名称の再履修クラスまたは「受講対象/再履修者科目名」欄に旧科目名称が記載されている科目を履修登録します。自己の入学年度の教育課程表に掲載されていない科目や、カリキュラム改訂により読み替えにならない新カリキュラムの科目は卒業要件に算入されません。

自己の学年の必修科目と再履修の必修科目が重複した場合

自己の学年の必修科目と再履修の必修科目（あるいは再履修の必修科目同士）が重複している場合には、原則としてより低学年配当の科目を優先して履修してください。この場合、履修しなかった方の科目は次年度に履修することになります。

再履修時に他学部・他学科で履修可能な科目

次に示す科目については、再履修時に限り、表に記載の通り他学部・他学科において開講されている科目でも自学科の科目として履修登録することができます。なお、科目担当者の判断により受講が認められないことがあるので、受講希望者は履修登録前に担当者へ申し出てください。また、履修登録は他の科目と同様に Web にて行ってください。特別履修の申請は不要です。

科目と学生の所属の組み合わせにより、他学科で再履修可能かどうか異なります。表中で「○」になっている科目と学生の所属の組み合わせの場合、開講されている全ての他学科で再履修が可能です。「※1」などと書かれている場合は、条件付きで他学科での再履修が可能です。空欄の場合は他学科で再履修することはできません。

科目	学生の所属						
	理工	建都	工	情報	知識	都生	人間
微分積分学(1)/(1a)(1b) 線形代数学(1)/(1a)(1b)	○	○	○	※1	※1		
微分積分学(2)/(2a)(2b) 線形代数学(2)/(2a)(2b)	※8	※8	※8	※2	※2		
微分方程式論 ベクトル解析学 フーリエ解析学 化学(1)(2)	○	○	○	○	○		
関数論	○		○	○	○		
数理統計学	○	※11	○				
数理統計学(a)(b)	○						
基礎確率統計				○	○		
物理学実験/(a)(b)/(1)(2)	※5	※5	※5	※5	※5		
化学実験	※3	※3	※3	※3	※3		
情報リテラシー演習/(a)(b)	※4	※4	※4				
プログラミング基礎/(a)(b)	※5	※5	※5				
コンピュータ概論/(a)(b)	※5		※5	※6	※6		
物理学及び演習(1)(2)	○	○					
物理学(3)(4)	※7		※7				
基礎体育(1)(2)/(1a)(1b) (2a)(2b)	※9	※9	※9	※9	※9	※9	※10
データサイエンスリテラシー(1)	※12	※12					

※1 前期のみ再履修可。

※2 後期のみ再履修可。

※3 1年生の再履修不可。

※4 自然科学科以外の学生は共通科目クラスに記載されている曜日時限でのみ再履修可。
自然科学科の学生は自学科開講の集中講義でのみ再履修可。

※5 共通科目クラスに記載されている曜日時限でのみ再履修可。

※6 情報工学部・知識工学部（自然科学科を除く）内の他学科で再履修可。

※7 理工学部・工学部内の他学科で再履修可。

※8 2年生前期では自学科及び共通科目クラスに記載されている曜日時限でのみ再履修可。
2年生後期及び3年生以上は他学科で再履修可。

※9 指定された曜日時限でのみ再履修可。再履修可能な曜日時限はポータルサイト等で通知する。

※10 自学科及び指定された曜日時限で再履修可。再履修可能な曜日時限はポータルサイト

等で通知する。

※11 建築都市デザイン学部内の他学科で再履修可。2020 年度入学生は開講されているすべての他学科で再履修可。

※12 理工学部・建築都市デザイン学部内の他学科で再履修可。

外国語必修科目の再履修にあたっての注意

1. 「Reading and Writing (1)」の開講学期は2019年度より前期に変更となりました。そのため再履修クラスも前期開講となります。
2. 「Reading and Writing (2)」の開講学期は2019年度より後期に変更となりました。そのため再履修クラスも後期開講となります。
3. 「Communication Skills (1)」「Communication Skills (2)」「Reading and Writing (1)(1a)(1b)」「Reading and Writing (2)(2a)(2b)」は共通科目クラスとして開講されている「再履修クラス」で履修することになります。1年生対象のクラスは履修できません。対象者は学期開始前に指定されたクラスに配属されます。履修手続きや配属クラスの掲示についてはポータルサイトで確認してください。また、原則として指定されたクラスを変更することは認められません。

(理工学部・工学部・建築都市デザイン学部)

プログラミング基礎/(a)(b)の再履修にあたっての注意

- 前期の開講クラスは再履修生を対象としていますが、2025年度後期からプログラミング言語がPythonに変更されているので注意してください(Cによる開講はありません)。
- 火曜日4限開講のクラスは教室の収容人数に制限があるため、再履修の受け入れは1年生の履修状況によって決定します。確実に履修したい場合は、制限のない他の曜日の開講クラスでの履修をお勧めします。詳細については後期開始後にポータルサイトで確認してください。

(理工学部・工学部) コンピュータ概論/(a)(b)の再履修にあたっての注意

- 月曜日4限開講のクラスに受講希望が集中する傾向があるため、2025年度より再履修については履修登録期間中に受講クラスの希望調査を行った上で履修するクラスを決定します。希望調査を提出しないと履修は認められません。また、希望者が超過した場合は抽選を行うため、希望するクラスでは履修できない場合もあります。なお、希望調査の詳細については後期開始後にポータルサイトで確認してください。

情報リテラシー演習(a)(b)の再履修にあたっての注意

- 例年、後期の月曜日5限に開講していた再履修クラスは、2026年度から前期の月曜日5限開講となります。後期には開講されませんので注意してください。